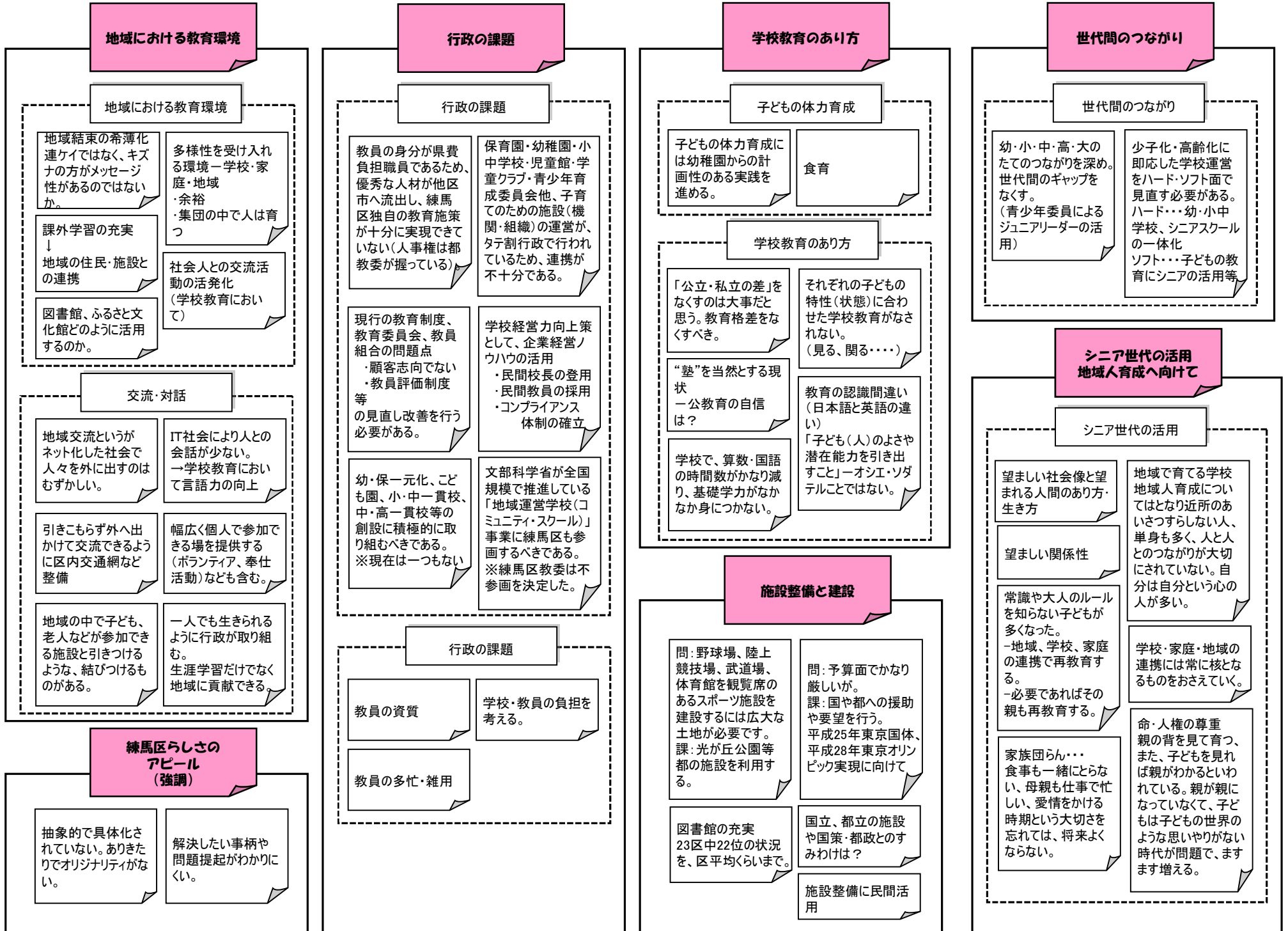


第3回 練馬区の将来像を考える区民懇談会－教育分野

(別紙)



家庭教育の環境

家庭教育環境

基本的な日常生活習慣がされてない

家庭教育の躰が幼少時大切ですが、親の経済的・精神的な考え方に余裕がない。

夕食を家族でとらない(個食)子ども。

父親らしさを支援する制度が必要では？

親子が一緒にいられる時間を増やす努力。

家庭における躰の放棄

子どもの教育は家庭教育(育ちよう)が基盤になることを肝に銘じるべきである。

まず、親自身が自己中心主義、金銭至上主義を改めることが先決である。

親は子どもにとって、いいお手本になるように生活態度を改めていくことが大事である。

人間性づくりは、家庭教育(特に、幼児期・少年期)の精神(心)の豊かさを養う努力が最も大事。

正義・道徳の欠如

公共道徳の欠如

宗教心の欠如(宗教心は道徳、生命、倫理の源)

平気でうそをつく子どもが多い(正義の欠如)

家庭・家族

大家族の時にはひとつの家庭の中でバランスがとれていたことを、バラバラで一人家の中にいる老人、子ども、主婦などを相互に助けあえるシステムづくり

家族そろって会話を楽しみながら食事をとるといいますが、いろいろな家庭があるのでむずかしい。

家の中で働く人、家事をする人、子ども、老人
↓
地域でその役割ができるか。

朝食を食べていない。家族そろって夕食をとらない。

働き方を考え直す

子どもたちに命の大切さが理解されていない→道徳教育

時間が足りない

家庭において自らが親として人格を高めるべき努力が大事である。

家庭・学校だけでなく地域で社会規範やルールなどを学ぶ場がある。

家庭は夫婦、親子で構成する小さな社会集団である。生活基盤の場、生きるための生活の場と心得よ!!!

家庭、学校、社会の三者一体の活動を推し進めたい。そのために人間関係を生かす。

ボランティア・奉仕活動の奨励

奉仕活動の活用(ボランティア)

奉仕活動を全小中学生に必須とする。(自己犠牲ととらえる人がいるが)

奉仕活動は「思いやり、社会規範、非行防止」につながる意識をもたらす。

自立・社会性・協調性を身につけた子ども達。

ボランティア活動が実践される機会を多くつくる。

ボランティア活動と奉仕活動の違いを認識する。

学校・家庭・地域の連携づくりとして、三者一体となって参加するボランティア活動(地域清掃等)。

ボランティア・奉仕活動の奨励

奉仕活動の積極的展開。(社会奉仕)

ボランティア活動の奨励。

障がいへの理解

障がいへの理解

地域社会、また、家庭においてもハンディのある人、ハンディの内容(特に発達障害)について理解がない。

障がい者でなくても区別し争いあっているのが現状。

大人教育

子どもの教育は大人から

保護者(大人)の我が子中心的姿勢。
-進学・学力中心
-競争優先

自己責任社会であることが認識されていない。

挨拶をしない大人と返事をしない子ども

マナー

社会人のマナーの悪さ
地域清掃で最多のゴミはタバコの吸殻

少子化問題

子どもがたくさん生まれる区になる、というが。子どもが減っているのは結婚率が減っているから。それをどう思うか。